

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	POCCOスタディしょうわちゅうおう		
○保護者評価実施期間	2024年11月7日		2024年11月22日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	53人	(回答者数) 40人
○従業者評価実施期間	2024年11月18日		2024年11月22日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7人	(回答者数) 7人
○事業者向け自己評価表作成日	2024年12月5日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	『日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができています』『事業所の職員から共感的に支援をされている』と感じている保護者が多い。	丁寧に家族支援を行うことを心がけている。事業所での日々の過ごし方や様子だけでなく、ご家庭の様子や学校での様子、心配事なども共有し、支援に活かせるよう努めている。	今後も継続する。また、子育てサポートとして、事業所内のスタディでの様子を参観・見学する機会なども計画していく。
2	『こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思う』と感じている保護者が非常に多い。	個別のブースで学習を行える。また、必要に応じてヘッドフォンを用いて、周囲の音を遮断して学習に向かうことができる。長机のスペースでは宿題や工作活動、UNOやトランプなどいろいろな活動に取り組めるようになっている。	個別ブースを数席撤去し、運動できる環境も整えるよう工夫している。5領域を総合的に支援できるよう、活動を計画すると同時に環境面も工夫していく。
3	『こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)(※3)が作成されていると思いますか。』に「はい」と回答した家庭が多い。	家庭支援と連動し、丁寧に聞き取りを心がけている。また、うかがった情報を児発管だけでなくすべての職員で共有し、個別支援計画や専門的支援計画に活かしている。	今後も継続する。必要に応じて、書面での記録も残すようにする。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がなかなか確保できない。	地域の公園等で居合わせた地域の児童館の子と交流する機会はある。ただ、活動として開催するに至っていない。	地域の施設とも連携して活動を計画する。また、活動の様子をSNSやYouTube等で発信していく。
2	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	これまで、新型コロナウイルスやインフルエンザの流行があり、こうした機会が確保できなかった。また、それに伴って開催するノウハウが少ないと言ったことが挙げられる。	他事業所での実践例を取り入れる。また、子育てサポート等とも並行して行えるような仕組みを作っていく。
3	学校休業日・長期休暇の活動が、今年は室内活動が多くなってしまった。	指導員がこれまでに戸外活動の引率といった経験が少なかつたため。	戸外活動や運動活動を充実させる。運動療育を体系的に展開する、夏休みの水遊びの充実、公共交通機関での移動を含む施設見学などを計画的に実施する。